

令和2年度 学校自己評価

基本方針 安心安全で生徒職員ともに元気な学校、生徒の長所を引き出し社会から信頼される学校づくりを目指す

重点目標	具体的目標
1 基本的生活習慣を確立させるとともに、規範意識の醸成を図る。	(1) 生活指導 ①基本的生活習慣の確立 ②ルールの遵守、マナーの向上 ③身だしなみ指導の徹底 ④元気なあいさつ・返事
2 基礎基本の学力定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に取り組む。	(2) 学習指導 ①授業規律の徹底 ②授業力の向上、授業改善（主体的・対話的で深い学び） ③家庭学習の定着
3 キャリア教育の一層の充実を図るとともに、大学入試改革への対応を図る。	(3) 進路指導 ①キャリア教育の推進 ②就職指導の充実 ③進学指導の充実と大学入試改革の研究
4 部活動や特別活動などへの積極的な参加を促すとともに、外部人材の活用や地域貢献を図り、円滑な人間関係や素直な心と感謝の気持ちを育む。	(4) 部活動及び特別活動 ①部活動の充実 ②学校行事の充実 ③生徒会活動、委員会活動の充実 (5) 勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害の防止 ①業務の適正化 ②確実・適切なメンタルヘルスの保持 ③年次休暇の計画的な取得を促進する環境整備
5 教職員間のコミュニケーションや連携を図りながら多忙化を解消する。	(6) その他 ①環境美化 ②ボランティア活動の推進 ③積極的な情報発信

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
総務	①PTA 活動をより充実させる。	PTA 活動の様子を保護者に向けて積極的に発信する。	・プリント、メール配信サービス、ホームページを活用して参加を呼びかける。参加人数は、のべ 168 人以上を目標とする。（4 月在籍数 168 名） ・PTA 活動の取捨選択をするとともに、参加型研修会の新しい活動を模索する。
	②内海高校の魅力を発信する。	従来からあるホームページや学校案内に加え、新たな情報発信方法を考える。	・ホームページのタイムリーな更新を継続しつつ、他分掌との連携を図り、内容を一層充実させる。 ・入学希望者の増加を目指し、中学生向けの情報発信方法を考える。
教務	①落ち着いた学習環境を作り、基礎基本の定着を図る。	授業規律の確保に努め、生徒が落ち着いて授業に向かえる環境を作る。	・年度当初から授業を受けるルールを生徒に周知し、学年及び学校全体で規律ある授業への姿勢を育成する。 ・週末や長期休暇において課題を課し、生徒の家庭学習の時間を確保する。
	②業務の効率化・電子化を行い、教員の多忙化解消を図る。	紙媒体で行われている業務を見直し、PC での処理ができるよう環境整備をする。	・成績処理における伝票の役割を、コンピュータ入力で代替できるようシステムの整備を行う。 ・職員の情報共有に、共有フォルダや校務支援システムの導入を検討する。 ・生徒指導要録作成に校務支援システムの導入を検討する。

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
生徒指導	① 基本的な生活習慣の確立	欠席・遅刻を減少させる。	・各月に集計結果を提示して、全職員で欠席 3.0・遅刻 1.0（在籍生徒一人当たりの数値）未満の数値目標達成を図る。（R1：欠 4.6/遅 1.1）
		皆勤者の増加を図る。	・皆勤率の向上を目指す。数値目標は全学年とも皆勤者 1/2 以上とする。
	② ルールの遵守、マナー向上	ルール・マナーを遵守し、TPO に応じた行動ができるよう促す。	・「内高生が守るべきルール・マナー」を活用し、意識高揚につなげる。校内外を区別せず「公共」を意識した行動を身につけさせる。 ・常に面接試験に臨める身だしなみと丁寧な言葉遣いを意識させ、継続させる。
		③ 学校行事、部活動の活性化と充実	生徒が充実感・達成感を得られる工夫をする。
	④ いじめのない安心安全な学校生活	部活動への参加率向上を目指し、やめさせない工夫をする。	・毎日指導に当たることを目標に、会話や指導を通して信頼関係を深め、生徒のやる気を引き出す。 ・自主的で充実した活動を通じて、自己肯定感を育ませる。
		スクールカウンセラーと連携し、いじめ事例に組織的に対応する。	・些細な兆候を見逃さず、アンケート調査を行うなど未然防止、早期発見に努める。また、いじめ問題に関して全職員が高い意識を持つ。 ・SNS の利用において、ルールやマナーの遵守を徹底し、その態度や行動を醸成する。
	真面目な生徒が損をしない環境を作る。	・自己都合を優先した周囲への迷惑行為に対しては、厳しく対応する。その場面に限らず、問題行動の背景をとらえ自分を見つめる機会を作る。	
進路指導	① 進学指導・就職指導を充実させる。	進学・就職両面において、生徒の基礎学力の向上の工夫と教員間の情報の共有化をしっかりと図り、適切な指導ができるようにする。	・進学と就職両方の指導に関して、個々の希望に応じた適切な指導をする。また、ST テストや補習や模擬試験を可能な限り活用させ、基礎学力の向上を図る。 ・就職指導として、教員間で事業所に関する情報の共有を図り、早い時期から生徒の希望と受験先のマッチングを意識した指導を行う。また、夏期対策講座の充実を図る。
		② 低学年から進路意識を持たせる。	進路行事を積極的に活用する。

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
保健厚生	① ボランティア活動の継続と充実	地域とあゆむボランティアの活動を発展させる。	・地域とあゆむボランティアについて、学校周辺の清掃活動を継続するとともに、砂時計製作の補助のボランティアや、南知多町の津波避難訓練、内海海水浴場の清掃にも参加することで、地域に対して内海高校の良さを発信する。 ・高校生ボランティアアワードに参加し、ボランティア活動に励む全国の高校生と交流することで、本校の生徒のボランティアに対する意識を発展させるとともに、本校の活動を全国に発信する。

②生徒委員会活動の充実	美化委員会の活動で生活環境に対する意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>美化委員を中心に年間3回の清掃道具の点検を行い、物を大切にする心を養うとともに、充実した清掃活動を行える状況をつくる。</li> <li>校門の花壇に季節の花を植えたり、除草・水やりの当番を決めて整備を行うことで、気持ちの良い学校環境をつくる。</li> <li>エコキャップを分別回収し、社会貢献・環境への意識を高める。</li> </ul>
	保健委員会の活動で自らの身体や、健康情報に関心をもたせるように工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の興味を引くため、保健委員を中心に話し合い、学校保健委員会において、本校の健康課題である「性のあり方」について取り上げて、正しい知識を身につけさせるための工夫をする。</li> </ul>
	③相談活動の充実	<p>スクールカウンセラーと連携し、相談活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プライバシーに配慮して、丁寧に相談活動を実施する。</li> <li>学年を中心に情報を共有し、生徒の学校生活を支援する。</li> <li>支援・配慮の必要な生徒に適切な支援・配慮ができるように、スクールカウンセラーとも情報を共有する。</li> </ul>

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
1 年	①規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立	自分を見つめ自分を理解して自己の見直しを図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら考えて行動できる力を養うとともに、皆勤者の増加(30%以上)と遅刻回数の減少を図り、社会に適應する能力を高める。</li> <li>話を聞く態度を養い、聞いたことを理解し行動につなげることが大切であると意識できるようにする。</li> <li>身だしなみを整え、人より先に挨拶できるようにする。</li> </ul>
		ルール・マナーを守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習環境を整えるために、授業規律の理解と徹底を図る。</li> <li>集団を意識できるような声かけを生徒に行うことで、ルールとマナーの周知徹底を図る。</li> <li>言葉遣いを正し、礼儀正しい行動をとれるように声かけをしていく。</li> </ul>
	②学習習慣の充実	<p>提出物・課題の提出期限を守る。</p> <p>基本的学習習慣をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の提出期限を守り、3学期までに課題の未提出者ゼロを目指す。</li> <li>学校設定科目「基礎数学」、総合的な探究の時間「黒潮」を通じて社会に必要となる基礎学力をつけるとともに、学び方やものの考え方を身につける。</li> <li>少人数授業の展開によるきめ細かい指導を行い、各定期考査では欠点者を減らす工夫をする。</li> </ul>

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
2 年	①周囲から信頼される生徒の育成	ルールとマナーや時間と期限を守り、規律ある集団生活を送る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習環境を整備し、授業規律の理解と徹底を図る。</li> <li>社会規範を自覚できるような声かけを行い、社会に出ても通用する規範意識を育てる。</li> <li>時間と期限を意識した行動が、規律ある集団生活につながることを理解させ、5分前集合と提出物の期限厳守を徹底する。</li> </ul>
		生徒1人1人の自立心を高め、前向きな挑戦を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自らできることへ手を出しすぎずに、生徒が自分の手でやることを大切にする。</li> <li>生徒一人ひとりに活躍の場があるように、生徒の個性に応じて挑戦を促していく。</li> </ul>
	②コミュニケーション能力の育成	各教科や総合的な探究の時間を活用し、自分の意見をまとめたり、発表したりする機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワークなど小さな集団での活動を重視し、自分の意見を持つことや言うことに慣れさせる。</li> <li>多様な価値観があることを理解させ、自分と異なる意見も受け入れられるようにする。</li> </ul>
		TPOに応じた言葉遣いと元気のよい挨拶や返事を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員から挨拶や声かけを積極的に行うことで、明るく元気な挨拶や素直な返事をできるようにする。</li> <li>場にふさわしくない言動はきちんと指摘をすることで、自分の言動を客観的にとらえて改善できるようにする。</li> </ul>
3 年	① 進路の実現	基礎基本を大切にし、基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律の確保に努め、落ち着いた学習環境の中で、集中して話を聞く姿勢を確立する。</li> <li>週間課題や帰りのSTの時間に学力向上のためのプリント学習を行う。</li> <li>日々の授業の成果である定期テストにおいて、欠点保有者をなくす。</li> </ul>
		進路意識を高めさせ、進路指導を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路相談週間、個人面談、進路ガイダンス、進路対策講座などを有効活用する。就職、進学後1年以内の離職率、離学率を0とするために、より一層生徒の就職に対する意識と基礎学力を高めていく。</li> </ul>
	②信頼される社会人として必要な能力や習慣の育成	皆勤率の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>皆勤の意義を説き、その実現に向け努力を促す。数値目標は皆勤率30%以上とする。</li> </ul>
		身だしなみルールの徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常から声をかけて、常に面接試験に臨む身だしなみを意識させる。また最上級生として、下級生の見本となる意識を高める。</li> </ul>
		コミュニケーション能力の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>最高学年として明るく元気な挨拶や素直な返事、正しい言葉遣いができるように学年全体で促す。</li> <li>公共の場での言動に気をつけさせる。社会に出たときに、自然と場に応じた話し方や立ち居振る舞いができるようにする。</li> </ul>